

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

施設所管課	市民部 文化・青少年課
-------	-------------

施設名	スカイプラザ浜大津
指定管理者	株式会社 ビー・ビー・シー・サービス
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
指定管理料	年額 26,800,000円(平成30年度) (総額 134,300,000円)
設置目的	音楽、演劇、その他の市民文化に係わる創作、練習、発表、鑑賞及び交流を通し、市民文化の振興を図ること。
業務内容	スタジオ1、スタジオ2、練習室1～4の施設とアップライトピアノなど附帯設備の利用の許可に関する業務。利用料金の授受に関する業務。利用促進に関する業務等。

主な成果 (自主事業含む)	使用料収入	目標	8,000,000 円	⇒	実績	7,485,840 円
	稼働率	目標	80 %	⇒	実績	76.1 %
	利用者数	目標	81,000 人	⇒	実績	73,462 人
	【主な自主事業実施による成果】					
施設の設置目的である市民の文化交流や市民文化の振興を支える施設として、より公平により分りやすく参加しやすい事業展開を実施するため、これまでにカルチャー事業を「浜大津文化クラブ」にし、イベント事業では新たに「ライブ開催支援事業」を開始した。市民のあらゆる文化活動を支援する体制を整えた。練習や発表での施設利用のニーズも多様化しており、数字だけでは図れない利用実態があると考え。						

総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	従来の運営方法を見直し、より公平で利用しやすい仕組みづくりに努めている。

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	A (優良)	市民の文化芸術活動を支援しながら適正な管理運営を努めた。	A (優良)	施設の設置目的を十分に理解し、創意工夫を加えながら管理運営を行った。
職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	事業計画書に沿って、経験豊富な職員を配置した。これまでの管理運営実績による利用者からの信頼を得ている。	B (良好)	適切に職員を配置し、出勤状況や労働条件等も適正であった。
職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	A (優良)	外部イベント研修やセミナーへの参加、文化シンポジウムへも参加している。	B (良好)	業務に即した実践的な研修も実施している。
法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	A (優良)	条例、管理規則など定められている事を遵守し業務にあたっている。	B (良好)	関係法令、条例等を遵守している。
個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	協定書や事業計画書などの規定を守り適正に扱っている。	B (良好)	協定書に基づき適切に行っている。
管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	些細な事もスタッフ間で話し合い、報告、連絡、相談をしている。	B (良好)	適切に整備、保管、活用されている。
連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	A (優良)	事業、施設管理や運営の報告書は適正であった。所管課とも連絡を十分行っている。	A (優良)	新規事業の開始や運用の変更の際に事前相談や、日常的な連絡もこまめに実施している。
緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	A (優良)	危機管理マニュアルに沿って対応しており、駐車場管理者と一体で消防避難訓練を年2回実施している。	B (良好)	緊急時のマニュアルを整備するとともに、定期的に消防訓練を実施している。
《I 総括》	業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設 項目】	A (優良)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項	
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	A (優良)	管理規則に定められた通りの開館日や時間を遵守し、設備点検も定期的に行っている。	B (良好)	閉館日、時間を遵守し、常に事故防止、安全確保に留意している。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	空調工事期間での利用者数を想定すると一定の水準には達していた。	B (良好)	空調工事による利用者数の減少を考慮すると、適正な水準であった。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	初回利用の方には利用時の諸注意説明をしている。経年劣化が進む中で、貸出備品も利用に影響なく提供出来ている。	B (良好)	常に接遇の向上に留意し、設備、備品の提供も適切に行った。
	事業運営 □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B (良好)	リニューアルした「浜大津文化クラブ」では習いたい人はもちろん、自身のスキルを活用して教えたい人も参加しやすくなり、文化的サービスも行った。	B (良好)	自身のスキルを活用できる事業の展開で地域の人材育成にも寄与した。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	設備保守点検の委託は専門業者の適切な作業を元に報告を受け、設備の状態を把握している。定期的に清掃をし、景観を保っている。	B (良好)	施設、設備の保守管理を計画的に実施し、修繕が必要な箇所には適切に対応している。備品の管理も適正である。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	利用に支障が出ないようにできるだけ早急にWEBや館内で案内している。	B (良好)	ホームページを活用し情報発信に努めた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	A (優良)	エコ仕様のチラシスタンドを設置したり、リサイクル可能な素材を使用するようにしている。	B (良好)	引き続き、省エネ、リサイクルに取り組んでいる。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	率直な意見が直に聞けるので、日頃から利用者とのコミュニケーションを大切にしている。	B (良好)	日頃の利用者対応の中で、意見・要望等の把握に努めている。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	事業を展開する中で参加者や利用者からの要望・ご意見を直接お話しを聞くようにしている。	B (良好)	アンケートは実施していないが、利用者対応の中でニーズの把握に努めている。
	《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目/当施設 項目】			B (良好)	B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	A (優良)	適切に経理事務を行っている。毎日行う作業は2名体制でチェックするようにしている。	B (良好)	指定管理料を適正に執行し、料金徴収や減免の手続きも適切に処理している。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入-支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	収支状況は概ね目標通りにプラスになっている。	B (良好)	空調工事のため貸館不可能な期間があり、使用料収入が目標に達しなかった。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B (良好)	利用者の中には小さい子どもを連れて方や高齢の方もおられ、空調の温度設定を過剰に効きすぎないように適温にしている。保守点検や修繕も適切に実施している。	B (良好)	経費削減に向けた取り組みを実施している。再委託も適切な水準、内容で実施している。
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当施設 項目】			B (良好)	B (良好)	

特記事項等 (課題・成果)	<p>【指定管理者】 生活の中にある文化活動は、利用する者、参加する者にとって生きがいや安らぎ等の心のリフレッシュになり、市民それぞれが楽しむ時間を作ろうと訪れる場所であることから、お客様目線を持ち、対話を大切にする。その結果生まれるものや繋がるものがあると、これまでの管理運営で実感した事でもあります。利用者目線と、管理運営目線のバランスも重要だと感じた一年でした。</p> <p>【施設所管課】 平成31年度は「浜大津文化クラブ」「ライブ開催支援制度」の開始により、教わったり鑑賞するだけでなく「教えたい」「発表したい」という利用者のニーズに対応した。次年度も継続することが望ましいと考える。</p>
-------------------------	--

